

5. その他の調査

5.1 目的

本調査は、各モデル地域で懸念されている事項や、クリーンアップ調査・フォローアップ調査の結果と合わせて、漂流・漂着ゴミ削減方策を検討する上で必要な事項について調査・検討することを目的とする。

5.2 調査内容

本調査は、6項目の調査から構成されており、各調査の名称・概要は表 5.2-1 に示すとおりである。各調査の詳細を次節以降に示す。

表 5.2-1 その他の調査の概要

調査名称	概要
① 漂流ゴミの漂流経路及び漂着割合に関わる調査	標識放流により、漂流経路及び漂着割合の把握に係る現地調査を行う。
② 漂着ゴミの発生源及び漂流経路に関わる調査	数値シミュレーションにより、漂着経路の把握に係る調査を行う。
③ 医療系廃棄物に係る実態調査	医療器具の生産国や輸入の状況、処理の実態を把握
④ 観光資源価値向上の検討に係る調査	漂着ゴミの回収により観光資源の価値が向上するものとの基本認識に基づき、ゴミ回収による潜在的な経済価値向上効果を把握する。
⑤ 国内向け広報活動の検討	国内で実施されている漂流・漂着ゴミに係る広報活動の実態と、効果的な広報活動に係る要因・要素を把握し、国内向けの広報活動を検討する。
⑥ 九頭竜川流域ゴミ問題ワークショップ開催の検討	河川流域における NGO/NPO 及び自治体が一同に会し情報交換をする場の設置可能性について検討し、H20 年度に「九頭竜川流域ゴミ問題ワークショップ」を開催する。